

むらづくり役場

住民自治組織 中津江振興協議会 《第25版》 2024.6.1 ☎ 54-3200

令和6年度 総会開催

百折不撓

立ち止まっても、また歩き始め続ける
小さな波紋を大きな輪に

今年7年目を迎える住民自治組織。5月22日に通常委員会(総会)を実施し、令和6年度の基本方針や活動計画、収支予算などを決定しました。今年度のテーマは「百折不撓(ひやくせつふとつ)」。むらづくり役場の委員以外の方(中高生や外部の人)にも活動に協力してもらい、失敗してもまた一歩ずつ進みながら、組織の目標である「みんなが主役のむらづくりに向け、楽しく安心して暮らせる事業を実施したいと考えています。

昨年度も、5つの専門部会を中心に様々な活動に取り組んでいたが、年間三十三回の部会協議に加え、認知症勉強会や都市部でのイベント出展など、新たな事業にも着手しました。本年度、役員体制等の変更はありませんが、各部会とも自分たちも一緒に楽しみながら、無理せず活動を続けて行こうと心機一転張り切っています。また、全体的には過疎地での地域医療や福祉の将来を考える検討会も実施予定です。地域の皆さんのご参加・ご協力をよろしく願います。



《令和6年度専門部会の主な事業》

- ◆まなぶ部会
 - ・認知症についての勉強会PartⅢ (くらす部会との合同開催)
 - ・人権講演会(男女共同参画について) くらす部会
 - ・独居高齢者誕生日訪問(80歳以上) デマンドバス利用促進
 - ・(バスツアー&お試し回数券発行) まもる部会
 - ・災害時の情報共有の在り方検討
 - ・暮らしを守るテーマでの寸劇公演
- ◆つくる部会
 - ・大規模イベントでの地域PR活動
 - ・住民ツアー新バージョン実施検討
 - ◆つどい部会
 - ・ふるさとまつり実施内容の企画 (ぼちぼちいこう会との合同企画)
 - ・月いちバザール開催

*会長、副会長、各部長は前号のかわら版をご覧ください。



令和6年度総会の様子



もしも!の時には?

風水害・土砂災害に備えよう!



今年、1月1日に発生した最大震度7という極めて強い揺れに襲われた能登半島地震。多くの方が犠牲になり、今でも断水が続くなど、現地では厳しい状況が続いています。

政府の地震調査委員会が公表している、震度6弱以上の揺れが起こる可能性を表す予測地図では、中津江でも3%程度の発生確率が示されています。地震だけでなく、まもなく訪れる梅雨時期には大雨による土砂災害なども心配されます。

こうした災害に対して、非常食や持ち出し品の点検など日頃からの備えを行うとともに、避難経路・避難場所の確認、安否連絡の方法を集落内で話し合うなど、イザという時に、早めに・安全な場所に避難できる準備が重要では。。。

~非常持ち出し品~ 中身をチェックしよう

- 飲料水 食料
- 常備薬、メガネ等
- ライト(懐中電灯等)
- 毛布、防寒具等
- 着替え(下着等) などなど



~防災ラジオ~ 乾電池の予備も準備



初めて乗る飛行機に怖がる様子もなく、機内でも終始ニコニコで周りに愛嬌を振りまく藍ちゃん。お父さんの実家、沖縄に家族5人で里帰りしてきたそうです。ご家族のお祝いで沢山の人が集まる中でも人見知りもせず、初対面のじいじとばあばにも直ぐに慣れて笑顔満開。ばあばの作るアオサの味噌汁を美味しそうに啜り、大好きなスイートコーンを両手に持ってガブリ。暑くて汗びっしょりになりながらも、床一面透明な水族館で大はしゃぎ、大好きなお兄ちゃん達とはボール遊びに興じていたそうです。

*ご両親から…いつまでもニコニコ笑顔で、すくすく育ってね(^^)

鷹野 藍ちゃん(柘原)
令和5年生まれ 9カ月

地域のお宝！
今月の赤ちゃん…



地域のお宝！
今のご長寿さん…

熊本県穴川生まれの遠坂さん。若い頃は山仕事や製材所、営林署の仕事を請け負っていたそうで、イメージの強いワサビ栽培は70代からとの事。小学3年生で地蔵元に引越し、鯛生小学校に転校。学校生活は戦争に左右される日々だったそうです。若い頃は、板場になりたくて調理師免許も取った経歴もお持ちだとか。今は長寿苑で生活されていますが、週に1回は地蔵元に帰り、息子さん達とワサビを収穫しメロンドームまで出荷に出かけるそうです。20代から毎日、日記を続けるマメな性格、長寿苑でも運動は欠かさない。体も頭も、元気ハツラツな遠坂さんでした(^^)

遠坂末廣さん
(地蔵元)92歳
昭和6年生まれ



長寿苑でのデ付ビス
みんな楽しそうです

新福祉施設、本格稼働！！

こども園には賑やかな
声が響いています



4月にオープンした池ノ山の新福祉施設は毎日、高齢者や子ども達が集う、新たな憩いの場所となっています。長寿苑に入居されている5人の方々は、皆さん「楽しいし入って良かった」と話されています。つえっ子こども園も14人の可愛い園児に囲まれて木の温もりが感じられる真新しい施設に、

明るい笑顔が広がっています。敷地内には菜園があり、小中学校も近いことから、今後も幼老連携の温かい交流が期待されます。5月21日に高齢者施設の復興記念で実施された「こけら落としコンサート」も大盛況で、多目的交流室の多彩な活用が楽しみです。皆さんも1度、施設を覗いてみてはいかがでしょうか。。



多目的交流室では
コンサートも開催

つれづれ

何年ぶりだろう、東京に住む姉が連休中に家に里帰りしてきた。母が亡くなった時にも、コロナ禍で戻れないままだったが…何歳になっても帰りたいのが故郷なんだろうか。高校大学以外、ずっと中津江で過ごしてきた私はTVで良く見る「夏休みに田舎のじいちゃんちに行って遊んだ」ってのが大人になっても羨ましい(笑)。今のところ居心地は良いし、何一つ出来てないのに、何かやれてる気にさせてくれる中津江。筑紫平野の麦秋に車を走らせ10回目の転居先である娘のアパートに向かいながらフト“俺のホントの居場所はどこなんだろう、井の中の蛙で終わるんだろうな”とつぶやくと、隣からいるはずのない声が…『カエルみたいに飛び跳ねる体力もないし、大海に出ても泳げないでしょ。どこかに行っても飲んだくれになるだけよ！』手厳しいのか、慰められているのか。さあ、見上げる空の狭さも心地よい中津江に戻ろう。あなたには戻るべき心の故郷がありますか？(英)

中津江地区社会福祉協議会から…

民生委員さんや福祉委員の皆さん、自治会長などで組織する「中津江地区社会福祉協議会」は5月23日に総会を開催し、令和6年度事業をスタートしました。高齢者の見守り活動に加え、地区でのミニデイサロン、歳末助け合い活動や赤い羽根共同募金、高齢者外出交流会など、地域福祉の推進に大きく寄与して下さっています。

活動の原資となる「特別会費」も、昨年度皆様の温かいご協力により、多額の支援をいただき感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。

。。。令和5年度ご寄付のお礼。。。

- ・赤星真一郎様 柿の谷(香典返し)*地区社協へ
- ・牧 修一様 川辺(香典返し)*地区社協へ
- ・松尾 裕次様 八所(香典返し)*地区社協へ
- ・合谷 元様 柘原(香典返し)*むらづくり役場へ